

あいめーる

AUTUMN

夜間地震避難訓練 愛隣館通信

平成 28 年 11 月 25 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリーピジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



非常灯下、職員による避難誘導：3号館

の、消防署より「応援に
来た職員が各号館の夜勤
者に避難状況を確認して
から避難誘導に入るよう
にしたが良い」、地域区長
より「対応が早くて驚い
た。また、利用者の状況が
理解できた」など、対応や
連携等について講評があ
り、館長がお礼の挨拶を行
い避難訓練が終了した。

避難入居者にヘルメットを装着



二十時八分避難終了。そ
の後、消防署より「応援に
来た職員が各号館の夜勤
者に避難状況を確認して
から避難誘導に入るよう
にしたが良い」、地域区長
より「対応が早くて驚い
た。また、利用者の状況が
理解できた」など、対応や
連携等について講評があ
り、館長がお礼の挨拶を行
い避難訓練が終了した。

LINEで連絡を受けた職員が、応援要請後、自
宅から駆けつけ、入居者にヘルメット又は防災頭巾を
着用してもらい避難場所の食堂へ誘導した。同時に避
難活動記録のタイムスタディー調査も行われた。

十月十七日(月)愛隣館に於いて、山鹿広域消防本
部より三名、山鹿市消防団第八分団から二名、地域防
災組織代表(柳川三岳校区長はじめ九名)、法人事務局、
愛隣館職員が全員参加し、夜間の大規模地震発生を想
定した訓練が行われました。

大規模地震想定夜間避難訓練

防災(火災 風水害 地震)、防犯
マニュアル策定と改訂の過程



館長
三浦 貴子

岩手県、北海道の水害、鳥取県の地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

そして私たちが生涯忘れることはできない、相模原障害者支援施設の凄惨な事件で生命を奪われた方々のご冥福をこころよりお祈り申し上げます。

全国各地での止まない自然災害と凶悪事件を受け、九月から実用的なマニュアルの改訂を始めたいです。目標は、全職員が理解してマニュアルを使こなせることです。分かりやすさと、策定に参加し自分たちの行動を決める事を試みました。

方法は、まず職員研修でのグループ討議、グループ発表。その意見をもとにリーダー職員が原案を作成し管理者が校正後、意見交換をして案にまとめました。

それから、利用者への説明を行い、夜間訓練への合意を頂きました。

十月十七日、消防署、地域消防団、自主防災組織の区長九名の方々の立ち会いの下で地震想定の間避難訓練、並びに職員参集訓練を実施しました。約30分で市内の職員は集まり、停電想定の中、全利用者を安全に避難させることができました。しかし七十人(95%の方が車イス利用)に対し、四人の夜勤者のみで初動の避難介助を行う困難さも明

らかなりました。訓練の実施で気づいた事をさらにマニュアル案へ落とし込む予定です。

防犯マニュアルは、まだ原案の過程です。厚労省通知をチェックリスト化してチェックし、グループ討議、発表までを行いました。想定が難しく難航ですが、内容をスリム化して実用化をはかりたいと考えます。防犯という意識を共有することが出来た、職員同士がお互いの考え方を知る機会を得た、などの感想が聞かれました。

組織として、緊急時にどう対応するか定着するよう訓練を重ね、夜勤者の心身の負担軽減をはかりながら、利用者の生命を守る私たち本来の使命を果たしたいと考えます。

★ 新しい仲間 ★



デイケア利用
古家 正夫

皆さん、はじめまして、六月二十一日から月・火・木にデイケアを利用しております古家正夫と申します。

まだまだ、利用者の方々の顔と名前が一致しません。利用日には、利用者の方々とお喋りを楽しみながら、のんびりと過ごしています。眼科の病気も持つていて、将来のことを考え点字に興味があるので覚えていたいと思っています。

体調の良い時は、気の知れた友人と地域を散策しショッピングなどを楽しんでいます。

これからも、よろしく願っています。



デイケア利用
吉里 豊子

皆さんこんにちは、九月五日からデイケアを月・水・金曜日に利用している吉里豊子です。まだまだ慣れず、戸惑うこともありますが少しずつデイケアに慣れていくところです。

先日、スタッフの方と一緒に陶芸教室で魚の箸置きを作りました。今度は、自分で使う湯呑みにチャレンジしようと思っています。皆さんよろしく願います。

● 新人職員紹介 ●



ケア課
吉川 雄介

皆さんこんにちは、今年の六月一日から愛隣館で働かせて頂いております吉川雄介です。出身は山鹿市小坂で、年齢は二十四歳です。私は、この職場にくる前に、山鹿市平山にあります平山温泉風月という家族風呂で二年半勤めてました。

その後、家庭の事情で辞める事になり、職を探している時に、田中裕一さんとの出会いがあり、愛隣

館で働かせて頂くことになりました。愛隣館には、小学校中学校の時に、見学や窓拭きなどで大変お世話になりました。現在、入職して四ヶ月になり、まだまだ分からない事が沢山あり、皆さまにはご迷惑をかける事が多いと思いますが、一生懸命努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願致します。



ケア課

井上 延代

長年にわたり医療関係に携わってきましたが、友人がサポートしている活動(障害者支援)をお手伝いする機会があるなか、こちらのご縁があり今年五月より「愛隣館」に勤めさせて頂いております。当初より入居者の方々の笑顔には大変救われ、感謝する日々を送っています。

入居者の皆さんの日常生活上のケアを行ないながらコミュニケーション能力を向上させる事が、当面の私の目標でもあります。

今後、起こりうる様々な課題にも、前向きに、取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



びあびあ支援員

向井 糸津華

皆さんこんにちは。びあびあでお世話になっております、臨床心理士の向井です。三年前に膠原病になってから治療が続いています。少しずつ回復してきて、また働きたいと思った時、愛隣館の相談員さんに声をかけて頂き、A型事業所で体力と自信をえてから、五月より勤務させて頂いています。

今の仕事にとてもやりがいを感じており、また体調等に配慮して貰いながら働けることにも感謝しております。今後もしも迷惑をおかけすると思いますが、いただいたこのご縁に感謝をし、利用者さんと共に細く長く続けていき、少しでも希望をもって生きるお手伝いができればと思います。どうぞよろしくお願致します。



愛隣倶楽部調理

立山 富美子

皆様、はじめまして、五月中旬よりお世話になっております立山富美子と申します。住まいは鹿央町です。

以前は、かんぼの宿に勤務しておりました。かんぼの宿が閉館となり、ヘルパーの免許を取得しました。主人がデイケアにお世話になっており、その関係でお声かけもあり愛隣館で働かせて頂く事になりました。

私も福祉の仕事は初めてで不安もいっぱいですが、職員の方々の一生懸命されている姿を見て、頭が下

がるばかりです。足手まといにならないように、今後も頑張っていきたいと思っております。よろしくお願致します。

熊本地震

緊急受入れ者からの手紙

熊本地震の際、愛隣館を利用された本田志喜美様より、心温まるお礼の手紙を頂きましたので、ご紹介いたします。

親愛なる愛隣館の皆様へ

その節は大変お世話になりながら、お礼の手紙が遅くなり申し訳ありません。

愛隣館の館長様、辻様には、地震で不安だった私を励まして下さりありがとうございました。また、田中様には心配をおかけし、忘れ物まで届けて下さり感謝しております。

また、家人様をはじめ、スタッフの方々には、私のことを愛の気持ちからきめ細かく援助して下さいありがとうございました。朝の人手が足りない時に転んでしまい、心配おかけしました。あの時のアザは二ヶ月ほど綺麗に治りました。

聖書の中にも、道で倒れている人を助けて親切にした例があり、それを思い出しました。

このような良い言葉があります。

「愛ある親切を抱いている人は自分の魂を豊かな報いをもつて扱っている」

愛ある親切もしくは忠節な愛を示すなら、他の人たちとの温かい永続的なきずなを持つことができます。スタッフの皆様も愛と辛抱強さを持つて、みなさんを援助されているので立派な仕事をされていると思っております。

本田 志喜美



月見の宴 29 回

中秋の名月の九月十五日(木)、愛隣館食堂にて月見の宴が行われました。三浦貴子館長の挨拶に続き、来賓の三浦牧子名誉理事長、愛隣荘三浦はるみ施設長、選者(有働真澄様、河野敏之様)の紹介が行われ、今年六月に入所された増田正代さんの元気な乾杯の音頭でお茶会がはじまりました。事前に募集した短歌及び俳句(月の部・雑詠の部)、百三十二点が披露され、熊本地震を詠んだ作品も多くありました。

和やかな会食の中、ステージでは、山鹿を中心として活動する、アコースティックユニット「ドン・ガバチョ」さんによるライブが行われ「涙そうそう」や「糸」等、秋の夜長に素敵な歌声を聴かせていただきました。

ライブ終了後に、短歌・俳句の入賞作品の発表、表彰、賞品の授与式が行われました。今年も沢山の地域賞を多くの方々からご提供いただきました。俳句、雑詠の部一席に選ばれたテイケアご利用の小川ハツ子さんは「まさか選ばれるとは思っていませんでした。嬉しいです」と、恥ずかしげに授賞を喜んでおられました。

第 29 回 月見の宴



平成二十八年 月見の宴 入選作品

三浦牧子名誉理事長賞

光り舞う 浴衣に消えた 夢ほたる

月うさぎ 杉山伸一

理事長賞

照れるから 母に言えずの 有り難う

月が伝えて くれたらいいな

田中正人

館長賞

父と母 仮設住宅 入居して

安心するも スロープなしか

増田正代

愛隣荘賞

満月や さとも御膳

ははしの 姑徳ぶ

原 照子

短歌 仄の部

一席 朝の五時 窓から見えた お月様

笑っておはよう ゆくりさよなら

伊豆永鶴代

二席 宵の口 満ちる姿を 待ちながら

見上げた空に 上弦の月

米崎みどり

三席 二十年 施設暮らして 窓越しに

梢の先の 愛隣の月

川嶋俊久

短歌 釋詠の部

一席 職員が 朝のあいさつ して通る

合わせて鳴くよ 法師蟬

野瀬正義

二席 記念樹の キンモクセイが 枯れた庭

日当たりいいが 心は日陰

伊豆永鶴代

三席 カブトゼ なんて言わずに 私には

冷えたトマトの やつて言て

河津政男

俳句 仄の部

一席 離れても 家族も眺める おなじ月

坂田照美

二席 バスの旅 ゆれて ゆれても 月の宿

月うさぎ 杉山伸一

三席 満月や 曇二枚の 我が城よ

岩下 カ

俳句 釋詠の部

一席 石垣の つゆくさぬれて 秋近し

小川ハツ子

二席 柿柿も 甘柿もある 家の庭

米井 健

三席 肩に手を ヘルパーと歩く 散歩道

松本邦也

熊本日日新聞社 岩下写真部次長賞

結婚式 拳げられなかつた 大地震

中野大清

熊本日日新聞社 潮崎山鹿支局長賞

週末に 姉の介助で 食事する

とくいのケンカは 私のリハビリ

江上恵子

光り舞う 浴衣に消えた 夢ほたる

月うさぎ 杉山伸一

アールグリニョトパートナーズ熊本 西島会長賞

震災で 思わぬ出会い 広がる輪

小嶺典子

帰り道 言葉にならぬ 声出して

手を振る母の 背中見送る

阿南志穂

明治学院大学 平野賞

照れるから 母に言えずの 有り難う

月が伝えて くれたらいいな

田中正人

被災して バスにゆられて 温泉に

体とともに 心あたため

小嶺典子

離れても 家族も眺める おなじ月

坂田照美

避難所に 微笑みもどる 山鹿の湯

坂田照美

三菱総研 高森賞

照れるから 母に言えずの 有り難う

月が伝えて くれたらいいな

田中正人

影法師 散歩道空 満天の月

鶴崎さおり

出雲アマテラス 北尾賞

「初任給」 諭吉がチラリ 肩の荷おりる

森川ともみ

避難所に 微笑みもどる 山鹿の湯

坂田照美

山鹿市観光協会 高野会長賞

月の夜に 逢瀬重ねし 青春の

夫の笑顔を 今も忘れじ

山口博美

山鹿ニユーグランドホテル 吉川賞

直会で 腰を下ろし 見上げれば

お疲れさまと 月がろう

坂田照美

肩に手を ヘルパーと歩く 散歩道

松本邦也

山鹿燈心会 代表世話人 三浦賞

カゴにとる 手をふとこめた 春キャベツ

河津政男

好きだつたのは わたしじゃないのに

小嶺典子

震災の 灯籠祭り ハッピ着て

神輿と共に 車椅子行く

神輿と共に 車椅子行く

小嶺典子

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

天草日帰り旅行

ケア課

草野 晴海

十月十三日(木)に天草日帰り旅行があり、久留ノブ子さん、巖瀬子さん、福浦一行さん、大林清一郎さんが参加されました。

宇土マリーナのレストラン漁師食堂で昼食。皆さん刺身を頼まれ、とてもおいしそうに召し上がりていました。大林さんと福浦さんは、ビールを飲まれうれしそうでした。福浦さんは、久しぶりの旅行で好物を食べ、涙を流して喜ばれていました。

その後、道の駅

不知火温泉へ行きソフトクリームを食べ、皆さんもおもいおもいにお土産を買われ楽しい一日を過ごされました。



ふれあいジョギング大会

ケア課

富田 正美

十月八日(土)菊陽町で行われた、「くまもと車いすふれあいジョギング大会」に行つてまいりました。

利用者は、河津政男さん、福原隆博さん、中本あけ美さん、小嶺典子さんの四名が参加されました。くもり空で天気が心配でしたが、競技中は何とか天気はもつてくれました。初参加の小嶺さんはボランティアの学生さんと一緒に走られ、「最後まで自走して頑張ることができて良かった」と言われました。

また、ジョギング後は会場に「くまモン」が来場し、利用者の皆さんは、くまモン体操を見に行かれました。中本さんは「くまモンに会えて、うれしかった」と、とても喜ばれていました。



利用者親善オセロ大会

ケア課

池松 知京
ちひろ

今年は、熊本地震の影響で六月に予定されていた利用者親善オセロ大会が延期となり、十月四日(火)に八代市のハーモニーホールで開催されました。

参加者は、愛隣館入居者の福原隆博さんと、杉山伸一さん、河津政男さん、デイケアご利用の吉本やす代さん、愛隣倶楽部ご利用の竹熊和孝さんでした。結果は、予選の一試合目と、二試合目は見事に勝利したのですが、三試合目で負けたため、惜しくも

予選敗退となりました。残念ではありましたが、皆さん他の施設の方々との交流を楽しまれていましたし、私達も色んな方々と交流ができ、とても良かったです。また、機会があれば参加したいと思っています。



お知らせ

アール・ブリュット

生の芸術 Art Brut 展覧会

開催期間：平成28年12月1日(木)～11日(日)

10時～18時30分 *土・日9時30分～17時30分

会場：天聴の蔵 山鹿市山鹿1392

アール・ブリュット移動美術館

開催期間：平成28年12月16日(金)～17日(土)

会場：益城町木山仮設団地内 みんなの家

開催期間：平成29年1月13日(金)～14日(土)

会場：西原村小森第一仮設団地内 みんなの家

生の芸術 Art Brut Petit 巡回展

開催期間：平成29年2月7日(火)～11日(土)

10時～18時30分 *土・日 10時～18時

会場：やつしろハーモニーホール

八代市新町5番20号